

## 会 議 議 事 録

会 議 名	平成29年度 第2回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	平成29年11月1日 (水) 18時～20時	
会 場	専門学校 東京工科自動車大学校 123教室	
参 加 者	委員	7人 (参加者：6名) 浅古純一・及川順一朗・田中洋子・沼田 勇・植草賢治・北澤 聡 (欠席者：1名) 佐々木洋文
	事務局	3人 佐藤康夫・山口泰之・戸辺 武
会 議 録	<p>1. 校長挨拶 佐藤校長より、本学校関係者評価委員会開催に向けての挨拶が話された。</p> <p>2. 委員会成立の確認 事務局（山口副校長）より、会則第5条の2に基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。</p> <p>3. 学校関係者評価委員会・事務局メンバー確認 および 議長、書記選出 学校関係者評価委員会と事務局メンバーの確認を行ない、議長に委員長の浅古氏、書記に及川氏が選任された。</p> <p>4. 議事</p> <p>○第1号議案</p> <p>・前回議事録確認 【資料A】 事務局（戸辺）より、資料A（平成29年度第1回学校関係者評価委員会会議議事録）に沿って前回議事録についての概要説明及び確認が行われた。</p> <p>○第2号議案 【資料B】</p> <p>・職業実践専門課程 認定要件の見直しについて 事務局（佐藤）より職業実践専門課程の概要等について説明が行われた。 現在、全専修学校での認定率は約40%。初年度よりも認定要件が少しずつ厳しくなってきた。 文科省は現在の認定要件にすべて合わせていく方針。教育課程編成委員会について現在の認定要件では企業委員は学科毎に一人ずつということになり、1名不足になってしまうので、委員を1名追加したことを報告する。</p> <p>・認定後3年を経過した認定学科→新様式4による報告について</p> <p>○第3号議案 【資料B】</p>	

・公開情報更新について [資料 B]

平成 29 年度公開情報について事務局（山口副校長）が概要の説明・確認がなされた。

- ・本年度 11 月 15 日までにホームページの全情報更新完了予定
- ・更新履歴内容の説明

○第 4 号議案 【資料 B】

- ・平成 29 年度の取り組みに関する進捗状況

平成 29 年度の取り組みに関する進捗状況に関して事務局(山口副校長) より以下の説明がなされた。

①就職

a.卒業年度生の就職内定率

例年 8 月末 80% を目標にしていたが、今年度は 8 月末 100% を目指した

中野校全体 : 8 月末 88% (目標 100%)、10/26 現在 95%

自動車整備科 (2 年生): 8 月末 89% (目標 100%)、10/26 現在 98%

12 月末 100% を目指している

エンジンメンテナンス科 (2 年生): 8 月末 75%、(目標 100%)、10/26 現在 87%

レースメカニック志望の学生の内定が来年 2 月頃のため、ちょっと

遅れた感じになっているが、12 月末には 100% を達成したい。

1 級自動車整備科 (4 年生): 8 月末 98% (目標 100%)、本日付け 98%

b.次年度就職学生に対しての取り組み

- ・企業研修: 本年度の実績及び実施予定の研修の報告。5 社予定
- ・就職プログラム: 本年度の実績及び実施予定の内容の報告  
作文講義、SPI 試験・履歴書作成、面接試験対策の実施  
企業研究会 (東京ビッグサイト 2018/1/22 実施予定)

②企業連携実習

本年度企業連携実習の実績及び実施予定の内容の報告。7 社予定

③国家試験対策

- ・ガス溶接、危険物乙種 4 類、ソーシャル検定、二級 2 輪自動車整備士資格

取得状況について:

ソーシャル検定 (中級) の結果が低い (留学生に対する日本のマナー教育に工夫が必要と感じる)

2 級二輪取得率: 目標年度内 100% 現在 93% 科内で意識して取り組んでいる

- ・国家整備士資格の取組について

○ 1 級登録試験の取組について

インターンシップ後、過去問対策を実施している。4 期以降 5 0 問の総合問題を行ない、得点により毎日グループ分けを行ない、下位学生に対しても実力向上を図る工夫を実施している。

現在、昨年同時期の学生と比べほぼ同レベルとなっている。早くレベルを上げていかないと間に合わないので対策についても早めに始めている

・ 1 級 4 年インターンシップ

本年度 1 級自動車整備科 4 年生 インターンシップのについての報告

・ 地域活動への参加

今年度現時点までの地域活動への参加状況の報告

例年通り、地域の祭典、地区祭り等への参加報告

④ 教員職員研修

・ 本年度の実績及び実施予定の研修の報告

職員・教員が参加した研修についての報告・説明

教育課程編成委員会の方々のご意見も頂戴しながら実施している

⑤ その他

夏季教職員研修でも実施した、ディプロマポリシーの策定についての中間報告

今後のディプロマポリシー公開準備についての説明

12 月 8 日(金)に第 3 回教育課程編成委員会を開催し内容を確認していただく予定

平成 3 0 年にはカリキュラムポリシー策定の予定

【意見・質問等】

田中：お祭りの際は雨の中今年も御協力いただき感謝しています。

町会としては、防火防災対策について重点を置いて実施予定。今後とも御協力をいただきたい。

学園祭の際は留学生からしっかり説明していただいてありがたかったです。

佐藤：留学生のソーシャル検定の合格率が低いとの件について、留学生のマナーが低いから合格率が低いのではなく、自動車以外の問題文が読み切れないのでなかなか点数が取れないということであると感ずる。今後留学生に対する方策を検討する必要がある。

及川：今回世田谷の学園祭に参加させていただいた。ベンツや 3 D プリンターなどがあった。そういうものの学び等について、中野・世田谷・品川 3 校の交流がありますか。

佐藤：今の小山学園はそれぞれの学校の特徴を出した特化した学科運営をしている。  
現在は3校のカリキュラムの関係もあって、選択等による相互の学びの交流は無い状態。  
学生たちにとっては、年一回のセミナー報告会で3校の学生が一同に会し他校の学生の様子に触れる機会がある。

浅古：3校の生徒の交流の場のようなものがあるのもよいのでは。

植草：エンジンメンテナンス科の就職先について、どのような企業へ行かれているのでしょうか。

山口：ムーンクラフト、中嶋企画、ARTA等のレースチームを目指している学生が多い。  
全体の学生の1割くらいがレースの企業に就職している。

佐藤：性能を上げる（チューニング）技術を学ぶ授業を行なっている。そのための一つとしてレースの授業がある。基本的な二級整備士の内容にプラスした教育カリキュラムとなっており、より向上心のある学生が入学してくる。就職については、必ずしも固執することなく、一般の整備士として就職する学生も多い。

植草：特に意欲が高い学生が多いと感じるので、是非採用していきたい。

北澤：高尾の研修に多くの中野校の学生が参加していただいた。  
2級課程の学生が1級課程への編入を決めるタイミングはいつ頃か。

山口：1年生の11月頃に説明、12月編入試験を実施している。

沼田：社内でも外国の社員にマナー講習等を実施している。企業側にどうした研修があった方がよいのかなど、教えていただきたい。

佐藤：以前と違い、漢字圏でないベトナム、ミャンマー等の留学生が非常に増えている。  
日本語学校でもなかなか教えきれていない状態。力がつかないまま卒業させているのが現状。その結果、当校でもだいぶ苦勞している。  
企業さんから学校経由で留学生に課題等をだしていただければ学校も協力していきたい。

浅古：やはり外国人の社員については社内で育てていく必要があるのではないかと。

沼田：会話は問題ないのだが、やはり読み書きが難しいので、そこが課題。

佐藤：指定記録簿等、就職後必要となるものを教えていただければ、学校でも指導できるよう努力していきたい。

佐藤：専門学校が外部から質の高い教育をやっていることを認めてもらうためにも、職業実践専門課程の認定を進めている。  
大学も3つのポリシーをやっと作り終えるところで、専門学校で揃えているところはまだ少ない。ポリシー策定を積極的に実施しているのは、高校の教員や保護者に向けて信頼を得るためである。

浅古：学びの本当の成果を実際に感じることで、このポリシーの重要性がよく理解ができるのではないかと。人間性が会社を作っていくのではないかと。  
学生が右脳を使って学ぶ機会が与えられると、10年後等に会社や社会で評価される人材が育つのではないかと。

たとえば、右脳で一度体験したあとで左脳を鍛えること。イメージがあった上で  
の学びが特に身につくのではないか。

○第5号議案 【資料B】

- ・平成30年度学校関係者評価スケジュールについて事務局(佐藤校長)より、資料Bに  
基づいて説明がなされた。
- ・平成29年度 自己点検評価の学校関係者評価委員による評価スケジュールについて事  
務局(佐藤校長)より、資料B  
に基づいて説明がなされた。

○その他

及川：委員長の話のように、事象に対してどのように行動をするかという授業は自分  
の体験からも非常によいのではないかと感じた。

植草：社内でも起こったことに対して社員がどのように行動するのが問われるので、  
非常に興味深いと思います。

北澤：インターンシップの場でも突発的な課題対応などで協力ができればと思います。

沼田：マニュアル通りではなく、そのときどうするかを問われる教育は良いと思う。

また、褒められることも本人の記憶に残ることなので、良いアイデアだと思う。

・事務連絡

- ・自己点検評価の御協力をお願い
- ・プロジェクトセミナー成果発表会のご案内 12/6 代々木オリンピックセンターで  
実施予定。

以上

会議風景

